



**PiMSYNC<sup>®</sup>**

～PIMSYNCの仕組み～

2012年2月  
株式会社アプレッソ





## 基本概念

### 【概要】

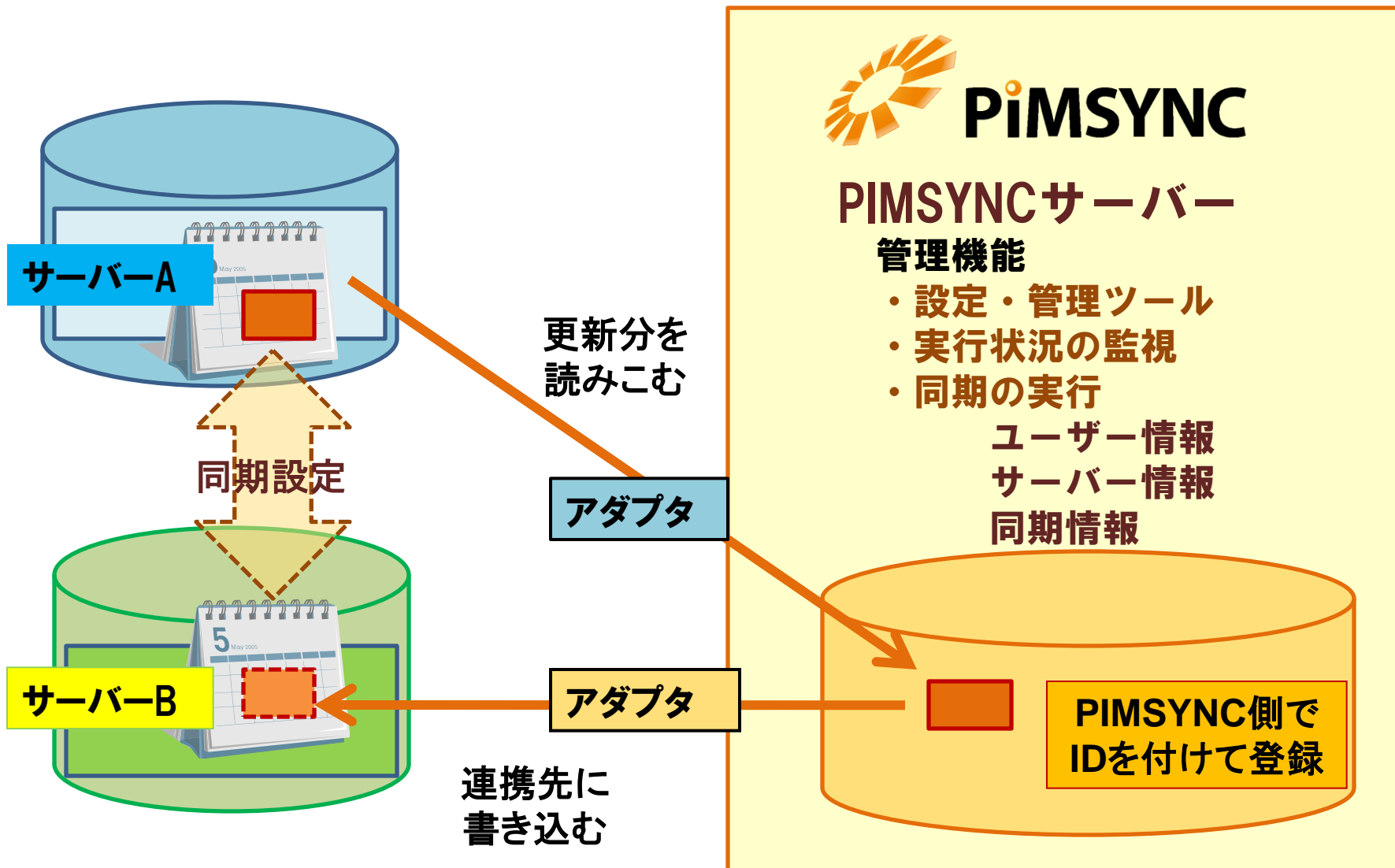
PIMSYNCはスケジュールやToDoなどのオブジェクトの双方向同期を実現するためにサーバー内部で複雑な処理を行います。基本的な概念はオブジェクトテーブル / 同期アクションテーブルという2つのシンプルな概念から構成されています。

#### – オブジェクトテーブル

同期元、同期先それぞれのアイテムの内容を保持するテーブルです。

#### – 同期アクションテーブル

同期アクション(挿入、更新、削除)に関する情報を保持するテーブルです。



## オブジェクトメタデータテーブル

列名	内容
OBJECT_ID	オブジェクトID
SYNCTASK_ID	同期タスクID
USER_ID	ユーザーID
LOCATION	同期元/同期先
GUID	関連付け用ID
LOCAL_ID	アプリケーションID
INDEX	インデックス情報

## オブジェクトデータテーブル

列名	内容
OBJECT_ID	オブジェクトID
KEY	項目 (例. SUBJECT)
VALUE	値 (例. 大阪出張)

## 同期アクションセットテーブル

列名	内容
SYNCACTION_SET_ID	同期アクションセットID
SYNCTASK_ID	同期タスクID
USER_ID	ユーザーID
OBJECT_TYPE	スケジュール, ToDo
DIRECTION	同期元 ⇄ 同期先
CREATED	作成日時

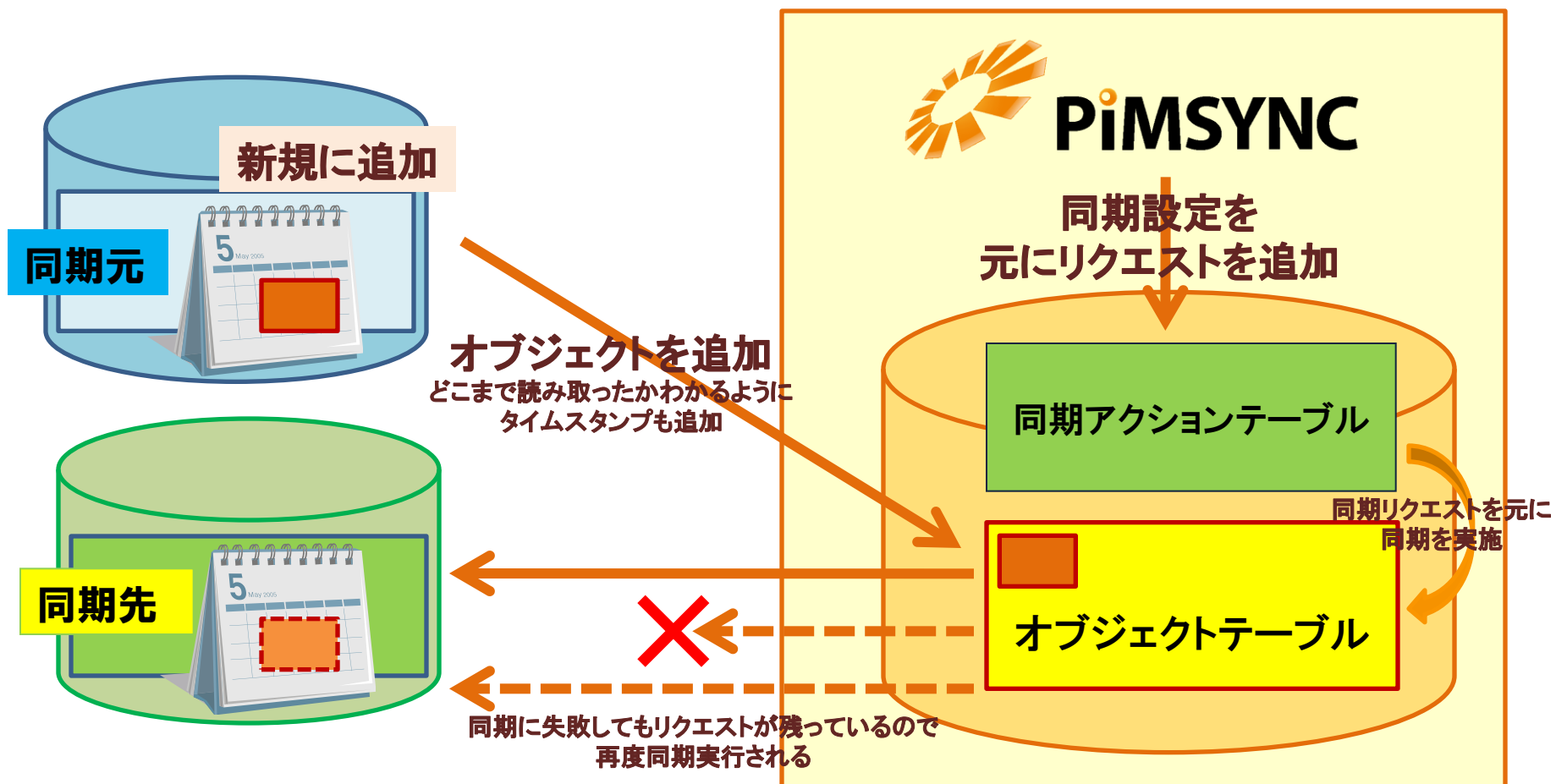
## 同期アクションメタデータテーブル

列名	内容
SYNCACTION_ID	同期アクションID
SYNCACTION_SET_ID	同期アクションセットID
SYNC_TYPE	挿入、更新、削除

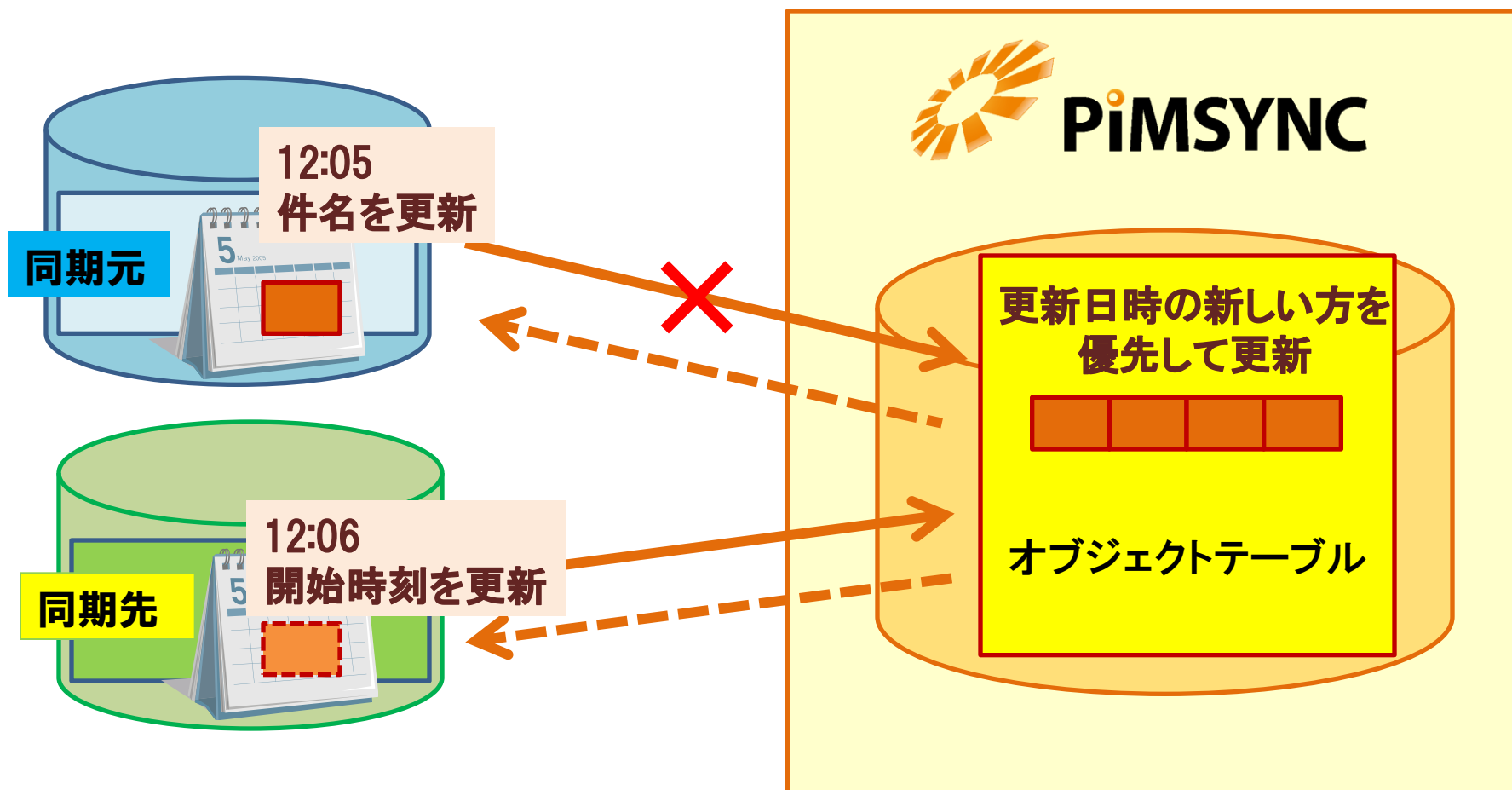
## 同期アクションデータテーブル

列名	内容
SYNCACTION_ID	同期アクションID
KEY	項目 (例. SUBJECT)
VALUE	値 (例. 大阪出張)

## 同期元に新規オブジェクトを作成した場合



双方で同じオブジェクトの異なる項目を同じタイミングで更新した場合



# スケジュール・ToDo自動同期ソフトウェア



**製品サイト:** <http://www.appresso.com/product/pimsync/>

**製品フライヤー:** <http://www.appresso.com/product/pimsync/pimsync.pdf>

**製品ご紹介(IBM Webcast) :**

<http://www.ibm.com/support/partners/jp/webcast/play/playpopup.wss?contentid=964&checksum=16b599cb>